

令和4年度 第5回いわての森林づくり県民税事業評価委員会

日 時：令和5年3月27日（月） 10：00～16：00
場 所：エスポワールいわて 大ホール

次 第

【 第 1 部 】

1 開 会

2 議 題

- (1) 令和4年度いわての森林づくり推進事業の取組状況について 【資料No.1】
- (2) 令和5年度いわての森林づくり推進事業について 【資料No.2】
- (3) いわて環境の森整備事業モニタリング調査報告について 【資料No.3】
- (4) 令和5年度県民参加の森林づくり促進事業企画採択に係る
意見聴取について 【資料No.4】
- (5) その他

3 閉 会

いわての森林づくり県民税事業評価委員会委員名簿

(令和5年3月27日現在)

氏名	役職名等	備考
稲村 崇史	有限会社稲村製材所 取締役	
國崎 貴嗣	岩手大学農学部 准教授	
齊藤 健吾	株式会社斎藤商事 代表取締役	
佐藤 貴美子	いわての森林づくりコーディネーター	
野口 麻穂子	国立研究法人森林研究・整備機構 森林総合研究所東北支所 主任研究員	御欠席
橋浦 栄一	岩手県消費者団体連絡協議会 常任幹事	
水野 匠	岩手県商工会議所連合会 事務局長	
村中 ゆり子	盛岡市立米内幼稚園 園長	
吉野 英岐	岩手県立大学総合政策学部 教授	
若生 和江	環境アドバイザー	

(五十音順)

1 委員 10名

2 任期 令和4年11月14日～令和6年11月13日


令和4年度 第5回いわての森林づくり県民税事業評価委員会 県関係出席者名簿

役 職 等	氏 名	備 考
農林水産部 技監兼林務担当技監兼全国植樹祭推進室長	橋 本 卓 博	
林業振興課 技術参事兼総括課長	工 藤 亘	
技術主幹兼振興担当課長	田 村 聡	
主任主査	千 田 啓 介	
主任主査	澤 崎 格	
主 事	木 村 直 樹	
主 事	目 黒 有 紀	
森林整備課 主任主査	橋 本 吉 弘	
主任主査	伊 藤 秀 行	
主任主査	中 嶋 康	
森林保全課 主任主査	鈴 木 善 之	
全国植樹祭推進室 主任主査	似 内 智 明	
盛岡広域振興局林務部 主 任	松 尾 聡 恵	
県南広域振興局林務部 主任主査	金 田 弘 次	
花巻農林振興センター 上席林業普及指導員	中 村 文 治	
遠野農林振興センター 主任林業普及指導員	女 鹿 咲 恵	
一関農林振興センター 上席林業普及指導員	小 原 修	
沿岸広域振興局農林部 主査林業普及指導員	新 井 隆 介	
宮古農林振興センター林務室 技 師	中 村 日 香	
岩泉林務出張所 上席林業普及指導員	須 藤 勝 吉	
県北広域振興局林務部 技 師	田 澤 英 寿	
二戸農林振興センター林務室 主査林業普及指導員	菊 地 寛 人	

令和4年度いわての森林づくり推進事業の取組状況について

令和4年度 事業内容

区分	事業名 [担当課]	事業内容	計画数量等	取組状況（3月末現在）	課題、令和5年度の対応・取組等
環境重視の森林づくり	(1) いわて環境の森整備事業【林業振興課・森林整備課】	森林の有する公益的機能を持続的に発揮させるため、針葉樹と広葉樹の混交林化を進める強度間伐や伐採跡地への植栽のほか、公益上重要な森林の整備に必要な作業道の開設、気象被害を受けた森林の整備等を支援	混交林誘導伐 600ha 森林作業道整備 3,000m ナラ林健全化 70ha アカマツ広葉樹林化 31ha 被害森林再生 5ha 枯死木除去 75 m ³ 森林環境再生造林 150ha	<p>これまでに「いわて環境の森整備事業」に係る施工地審査を <u>12回</u> (3/15^日切分) 実施 (当初は11回の予定)。</p> <ul style="list-style-type: none"> 混交林誘導伐：確保面積 <u>573.48ha</u> となる見込み (進捗率 95.6%) 森林作業道整備：確保数量 0m (進捗率 0%) 花巻・宮古・岩泉管内において要望があり、来年度実施に向け、計画調整中。 ナラ林健全化：確保面積 <u>84.05ha</u> (進捗率 120%) アカマツ広葉樹林化：確保面積 <u>96.48ha</u> (進捗率 311%) 被害森林再生：確保面積 0ha (進捗率 0%) 枯死木除去：確保材積 <u>275.86 m³</u> (進捗率 368%) 森林環境再生造林：確保面積 207.80 ha (進捗率 139%) 	<ul style="list-style-type: none"> 混交林誘導伐、森林作業道整備 施工地の奥地化、小面積化、林業事業者の体制等により、<u>施工地の確保が年々困難</u>となっていることが課題。 そのため、<u>面積要件を緩和</u> (1.0ha以上の団地要件を0.1ha以上に緩和)をしたことの周知、森林所有者 (特に世代交代者) への<u>県民税の周知</u>を行う。また、<u>新規事業者の追加</u>、<u>森林作業道の要件緩和</u>を行うとともに、<u>森林クラウドを活用</u>するなど、<u>施工地の確保に努めていく</u>。[混交林誘導伐 600ha、作業道整備 2,500m] ナラ林健全化、アカマツ林広葉樹林化、被害森林再生、枯死木除去 令和4年度に確保した施工地のうち、<u>未施工地分の事業計画書の作成について事業者を指導</u>するとともに、<u>枯死木除去は補助対象経費を追加</u> (松くい虫被害による枯死木周辺の感染疑い木の薬剤処理) することから、<u>このことについて事業者主体に周知</u>を行う。 [ナラ林健全化 70ha、アカマツ広葉樹林化 26ha、被害森林再生 5ha、枯死木除去 100m³] 森林環境再生造林 R5 春植栽分 (R4 からの繰越分を含む) について、<u>適期に植栽</u>を行うとともに、<u>必要に応じ植栽箇所の下刈り</u>を行う。[植栽200ha]

区分	事業名 〔担当課〕	事業内容	計画数量等	取組状況（3月末現在）	課題、令和5年度の対応・取組等
	(2) 花粉症対策等採種園整備事業〔森林整備課〕	花粉の少ない森林への転換を促進するため、花粉の少ないスギ等の苗木の安定供給に必要な採種園の整備を実施	<ul style="list-style-type: none"> 花粉症対策スギミニチュア採種園造成 1.5ha 3箇所実施（植栽 0.5ha、整地・施肥 1.0ha、伐採 1.5ha） カラマツ採種園造成 1.0ha 2箇所実施（整地・施肥 1.0ha、伐採 1.0ha） （岩手県林業技術センター林木育種場内） <p>〔花粉症対策スギミニチュア採種園 5.9ha/5年〕 〔カラマツ採種園 4.2ha/5年〕</p>	<ul style="list-style-type: none"> 花粉症対策スギミニチュア採種園造成 植栽0.5 ha、整地・施肥1.0 ha、旧スギ採種園の伐採等1.5 haを完了。 カラマツ採種園造成 整地・施肥 1.0 ha、旧アカマツ採種園の伐採等 1.0 haを完了。  <p>少花粉スギ植栽（奥州市）</p>	<ul style="list-style-type: none"> 花粉症対策スギミニチュア採種園造成 植栽1.0 ha、整地・施肥1.4 ha、旧スギ採種園の伐採等1.0 ha カラマツ採種園造成 植栽 1.0 ha、整地・施肥 1.0 ha、旧アカマツ採種園の伐採等 0.9 ha
	(3) 林野火災予防対策事業費〔森林整備課〕	林野火災から県民共通の財産である森林を守るため、初期消火活動に必要な資機材の整備や、林野火災を未然に防ぐための広報宣伝活動を行うとともに、地域で取り組む防火活動を支援	<ul style="list-style-type: none"> ラジオCM放送 93回（4,5,3月） テレビCM放送 84回（4,5,3月） YouTubeCM配信 75,000回（4,5,3月） セスナによる予防宣伝活動 11日間（5月） ボランティアによる山火事パトロール支援（奥州地区）：60セット（帽子、ブルゾン、マグネットシート） 路網マップ整備※ 1式 ※消火活動に活用可能な林道、作業道等を調査し、地図上に記載したもの。 	<ul style="list-style-type: none"> ラジオCM放送 4、5、3月 93回 テレビCM放送 4、5、3月 84回（民放4社） YouTubeCM配信 3月末時点の閲覧数 約193千回 セスナによる予防宣伝活動 4/24～5/8の土日祝日等 計11日間（33時間）実施（県南広域振興局林務部） ボランティア活動支援 ボランティア活動支援物品（帽子等）を、管内のボランティア団体（森林保護パートナー）54名に配付（3月）。（沿岸広域振興局農林部） 路網マップ整備 釜石地方森林組合に鶴住居・箱崎半島エリアの路網マップの製作を委託。2月開催の釜石地区山火事防止対策推進協議会において構成員である消防、市町等にマップを配付。 令和4年次（1～12月）林野火災発生状況 30件、10.29ha（速報値） 令和5年次（1～3月末現在）林野火災発生状況 8件、0.65ha（速報値） 	<ul style="list-style-type: none"> ラジオCM放送 75回（4,5,3月） テレビCM放送 72回（4,5,3月） ソーシャルメディアによるCM広報 75,000回（4,5,3月） 県と包括連携協定を締結した企業の配送車両（ヤマト運輸、佐川急便、日本郵政）へのマグネットシート掲示による広報 181台分（4,5,3月） （二戸農林振興センター林務室） ボランティア活動支援 ボランティア活動支援物品（帽子等）を、管内のボランティア団体（森林保護パートナー）8名に配付予定（2月）。 （大船渡農林振興センター） 路網マップ整備 気仙地方森林組合に大船渡エリアの路網マップの製作を委託予定。2月に開催される気仙地区山火事防止対策推進協議会において構成員である消防、市町等にマップを配付予定。



山火事防止テレビCM



山火事防止CM YouTube配信



セスナによる宣伝広報活動





ボランティア支援（県南エリア）



路網マップ（鶴住居・箱崎エリア）

区分	事業名 〔担当課〕	事業内容	計画数量等	取組状況（3月末現在）	課題、令和5年度の対応・取組等
森林との共生	(4)-① 県民参加の森林づくり促進事業 〔林業振興課〕	県民の森林づくりへの理解の醸成と積極的な参画の促進を図るため、地域住民や団体等が主体的に取り組む森林整備活動等を支援	<ul style="list-style-type: none"> 森林整備活動 10 団体 森林の整備を行う多様な人材育成 10 団体 森林環境学習 20 団体 県産材利用促進 5 団体 <p style="text-align: right;">計 45 団体</p>	<ul style="list-style-type: none"> 2次募集まで実施し、31 団体が採択され、活動を実施（完了）。  <p style="text-align: center;">森林整備事業（岩泉まつたけ事業協同組合）</p>	<ul style="list-style-type: none"> 事業の周知、新規実施団体の掘り起こしを行っていく。 事業実施団体への指導・助言などを行いながら事業を進捗管理 R5年度は 45 団体実施予定  <p style="text-align: center;">森林環境学習（ノームの会）</p>
	(4)-② 森林・山村多面的機能発揮対策事業〔森林整備課〕	森林の有する多面的機能を発揮させるため、森林所有者や地域住民が共同で行う森林の保全活動や山村地域の活性化などの取組を支援	<ul style="list-style-type: none"> 里山林整備、路網の補修活動等 84 団体 里山林整備 756ha 森林資源利用 219ha 路網の補修活動 2,664m <p>※「県民参加の森林づくり促進事業」の一部を位置付け</p>	<ul style="list-style-type: none"> 補助金交付決定（7/7）、変更交付決定（8/22、2/22） 全体進捗率 100%（交付金ベース）   <p style="text-align: center;">土淵山の会（遠野市）薪づくり活動 Wood Job 遠野（遠野市）保全活動</p>	<p>新規活動組織の掘り起こしが課題（R5：84 団体予定）</p> <ul style="list-style-type: none"> 里山林整備（772ha） 集落周辺の里山林を維持するための整備活動等 森林資源利用（213ha） しいたけ原木等に活用することを目的とした伐採、搬出等 路網の補修活動（1,970m） 里山整備、森林資源利用と併せて実施 <p>※活動組織が実施する取組を支援するため、市町村、関係団体等により構成される「いわて里山再生地域協議会」を通じて団体に交付</p>
	(5) 「木育の推進等につながる県産木材活用」の取組 〔県庁各部署〕	県民向け施設等への県産木材利用を促進することにより、木育の推進につながる木材利用や普及啓発強化を図る	<ul style="list-style-type: none"> いわて子どもの森（木柵整備）、県立美術館（スタジオワークショップ用木製椅子）、県内保育所・児童館等（木製品）への木製品の導入補助 など 11 事業を実施予定 	<p>3/15 時点での完了事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 花巻空港（木製パーテーション6 基整備） 釜石祥雲支援学校木製品導入（木製書架、テーブル、イス等） いわて子どもの森木柵整備 農業大学校木製ミニハウス 1 基整備 岩手県立美術館（スタジオワークショップ用木製椅子導入） 青少年の家施設整備（幼児用木製玩具導入） 岩手県営運動公園日本庭園木造橋整備 	<ul style="list-style-type: none"> フォローアップとして実際に導入した施設等で管理者や利用者から木育や県産材利用についてのヒアリングを実施し、県民税を活用した木育や普及啓発の取組として情報を発信。 R5年度は県庁保育所うちまる保育園、室根高原県立自然公園県営望洋平キャンプ場、県内保育所、種市海岸休養施設、県立図書館、県立病院院内保育所において木製品等を導入予定。
	令和4年度整備実績	いわて子どもの森（もりのメロディー）	青少年の家（木製カード）	県営運動公園（日本橋庭園内木造橋）	
					 

区分	事業名 〔担当課〕	事業内容	計画数量等	取組状況（3月末現在）	課題、令和5年度の対応・取組等
	(6) いわて森の ゼミナール 推進事業 〔森林整備課〕	森林・林業に対する理解の醸成を図るため、児童生徒をはじめ、広く県民の方々を対象として、森林・林業に関して学習する機会を提供	<ul style="list-style-type: none"> 森林環境学習会 25回 (小学生を対象とした樹木・自然観察、木工工作等) 森林環境学習指導者研修会（NPO等に委託） 	<ul style="list-style-type: none"> 委託契約締結（5/18） 森林環境学習会：28回実施（進捗率112%） 森林環境学習指導者研修会（7/25） 情報交換会（11/23）   <p>森林学習会（九戸村山根小学校） 森林環境学習指導者研修会</p>	<ul style="list-style-type: none"> 森林環境学習会（25回） 小中学校や各種団体等における樹木観察会や木工・クラフト体験等の取組に対し、森林インストラクター等の講師派遣を実施 森林環境学習指導者研修会（指導者研修、情報交換会） 森林環境学習などを実践するリーダーのスキルアップを図る指導者研修と情報交換会を実施 <p>※いわて森のゼミナールの運営については、NPO等に企画コンペにより委託予定</p> <ul style="list-style-type: none"> J-クレジット制度・普及促進セミナー J-クレジット制度の普及促進を図るため、J-クレジット制度の概要及び活用等について紹介するセミナーを開催（直営）
	(7) 森林公園機能強化事業 〔森林保全課〕	広く県民の森林・林業に対する理解の醸成を図るため、森林環境教育の拠点施設である森林公園の機能強化を実施	<ul style="list-style-type: none"> 県民の森（八幡平市） R3 繰越 木質資源活用施設（チップボイラー）、遊歩道整備 501m等 R4 当初 木育スペース整備 映像展示整備 滝沢森林公園（滝沢市） 遊歩道整備 326m 案内板整備 2基 等 千貫石森林公園（金ケ崎町） 木育スペース整備 案内板整備 3基 等 大窪山森林公園（大船渡市） トイレ洋式化 3基 案内板整備 1基 等 折爪岳森林公園（二戸市） R3 繰越 遊歩道整備（木橋 5基） R4 当初 木育スペース整備 トイレ洋式化 3基 等 	<ul style="list-style-type: none"> 県民の森 木質資源活用施設（チップボイラー）（完了） 遊歩道整備 501m、ウッドデッキ 1基、転落防止柵 185m、 標識等整備 5基（完了） 木育スペース整備（完了） 映像展示設備（3月完了予定） 滝沢森林公園 遊歩道整備 313m、案内板整備 2基等（R5に繰越） 千貫石森林公園 木育スペース整備（完了） 案内板整備 3基等（完了） 大窪山森林公園 トイレ洋式化 3基、案内板整備 2基等（完了） 折爪岳森林公園 遊歩道整備（木橋 5基）（完了） 木育スペース整備（完了） トイレ洋式化 2基、標識整備 4基等（R5に繰越） 	<p>県ホームページやSNS等を活用して積極的な情報発信を行い、公園利用者の増加と、県民税のPRに努める。</p> <p>令和5年度事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 県民の森 遊歩道整備、看板塔整備 滝沢森林公園 森林整備 千貫石森林公園 森林整備 折爪岳森林公園 森林整備 <p>※森林整備：様々な年齢層の利用者が森林の中で活動できるようにするため、刈払い等を含め、森林内を整備する。</p>

県民の森（八幡平市）



チップボイラー



木育スペース（12/8 お披露目会）



千貫石森林公園（金ケ崎町）



木製ベンチ設置



案内板整備

折爪岳森林公園（二戸市）



遊歩道整備（木橋）

区分	事業名 〔担当課〕	事業内容	計画数量等	取組状況（3月末現在）	課題、令和5年度の対応・取組等	
	(8) 全国植樹祭 開催準備 〔全国植樹祭 推進室〕	全国植樹祭の開催（令和5年）に向け、様々な機運醸成の取組を通じて森林の役割や重要性、県民税の趣旨や取組をPRしながら、開催準備を推進	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信（公式HPの運営、1年前記念イベントの開催、県内イベントでのPR） ・木製地球儀リレーの実施 全国植樹祭のシンボル「木製地球儀」を県内全市町村で巡回展示 ・県内児童等による苗木の育成（苗木のスクールステイ） 苗木の贈呈の際に、森林環境学習を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 全国植樹祭公式HP及びTwitterを活用し、県民税の取組を周知 ➢ 広報誌『緑のかけはし そばっち通信』第2号～第4号を発行 1年前記念イベント記念式典での配布を始め、関係各所に配布し県民税を活用し開催準備を進めていることを周知 ・1年前記念イベント（7/9） <ul style="list-style-type: none"> ➢ 全国植樹祭の周知や開催機運の醸成を図るため、標記イベントを開催し、約1,000人が来場 ➢ 記念式典では、緑の少年団の活動報告や大会テーマソングの発表などを実施 ➢ PRイベントでは、岩手の森林・林業紹介ブースにて、県民税及び木材利用推進に関するブース展示を実施 ・200日前カウントダウンイベント（11/16） <ul style="list-style-type: none"> ➢ 県産広葉樹材を使用し、県民税マークを掲示したカウントダウンボードを、県庁及び3か所のサテライト会場予定地に設置。 ➢ 県民税を活用し開催準備を進めていることを周知し、県民税や「木づかい」に関する県民の関心を喚起 ・木製地球儀リレー <ul style="list-style-type: none"> 1年前記念イベント（7/9）で出発式を実施 12月末までに27市町村で木製地球儀を展示することにより、森林・林業に対する県民の関心を喚起 ・苗木のスクールステイ <ul style="list-style-type: none"> 54団体・学校で1,404名が参加し苗木の育成を実施 併せて森林環境学習を行い、児童等に対し本県の森林の特徴や重要性等について普及啓発を実施 ・100日前カウントダウンイベント（2/25） <ul style="list-style-type: none"> ➢ 「木製地球儀」の全市町村での展示完了セレモニー及び本県オリジナルの木製楯の完成セレモニーを実施 ➢ 「苗木のスクールステイ」取組団体に対する感謝状贈呈式を実施 	以下の取組を通じ、県民税の普及啓発や岩手県の森林・林業の役割・重要性を情報発信する。 <ul style="list-style-type: none"> ・式典行事の実施による開催理念の表現 開催理念である「県民総参加による森林づくり」、「森林資源の循環利用の推進」、「健全で豊かな森林の次世代への継承」を、宮沢賢治の童話「虔十公園林」をベースとした演出により表現します。 ・映像による森林・林業のPR 式典前及び式典中で、岩手県の森林・林業や、日本一の生産量を誇る木炭や漆に関する映像を放映し、森林県・いわてを広くPRします。 ・木製工作物によるPR 「お野立所」や招待者をお迎えする「オブジェ」「ウェルカムボード」などの木製工作物をご覧いただき、本県の森林・林業の特徴である多種多様な樹種構成について、招待者にも実感していただきます。 	
		<p>【全国植樹祭公式ホームページでのPR】</p>  <p>いわての森林づくり県民税をPR</p>				
		<p>【そばっち通信でのPR】</p> 	<p>【カウントダウンボードでのPR】</p>  <p>いわての森林づくり県民税をPR</p>	<p>【100日前カウントダウンイベントでのPR】</p>  <p>「木製地球儀リレー」完走セレモニー</p>	 <p>「苗木のスクールステイ」感謝状贈呈</p>	

区分	事業名 〔担当課〕	事業内容	計画数量等	取組状況（3月末現在）	課題、令和5年度の対応・取組等																								
	(9) いわて森林づくり推進人材育成事業 〔森林整備課〕	地域における森林整備活動を推進するため、専門知識と技術を有し、地域に根ざして関係者の合意形成等を図る人材を育成	<ul style="list-style-type: none"> ・直営研修 8回 森林づくりに係る実践研修、安全講習、コミュニケーション研修等 ・派遣研修 4回 地域林政アドバイザー養成研修、チェーンソー特別教育等 	<ul style="list-style-type: none"> ・当該研修の運営業務を企画コンペにより県森連に委託 ・委託契約締結（5/17） ・R4新規受講者15名、R3からの継続受講者10名 ・直営研修 8回（進捗率100%） ・派遣研修 4回（進捗率100%） <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>更新樹種の確認（遠野市） 森林づくり活動実践研修（矢巾町）</p> <p>【研修・認定状況】</p> <table border="1" data-bbox="1279 737 1994 961"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3実績</th> <th>R4実績</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規受講者</td> <td>16</td> <td>15</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>（修了）</td> <td>(6)</td> <td>(1)</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>（未修了）</td> <td>(10)</td> <td>(14)</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>（継続受講者）</td> <td>-</td> <td>(10)</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>認定</td> <td>6</td> <td>9</td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table> <p>※研修科目が多いため、2年かけて全て受講（受講者14人/年を想定）</p>		R3実績	R4実績	計	新規受講者	16	15	31	（修了）	(6)	(1)	-	（未修了）	(10)	(14)	-	（継続受講者）	-	(10)	-	認定	6	9	15	<p>研修生の確保のため機会をとらえ事業内容の周知</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いわて森林づくりコーディネーターの育成 地域の森林整備活動の核となることが期待される者を対象に研修会を実施 〔新規受講予定14名/年、修了予定7名/年〕 研修を修了したコーディネーターの中には、それぞれの立場（森林組合、地域団体、振興局等）に身を置きながら、研修で得た知識を活かして森林所有者からの相談に対応するなど、すでに活動を開始している事例もみられている。 ・直営研修（7回） 森林づくりに係る実践研修、安全講習、コミュニケーション研修等 ・派遣研修（4回） 地域アドバイザー養成研修、チェーンソー特別教育等 <p>※当該研修の運営業務を外部の団体等に企画コンペにより委託予定</p>
	R3実績	R4実績	計																										
新規受講者	16	15	31																										
（修了）	(6)	(1)	-																										
（未修了）	(10)	(14)	-																										
（継続受講者）	-	(10)	-																										
認定	6	9	15																										
	(10) いわての森林づくり普及啓発事 〔林業振興課〕	県民の森林づくりに係る関心を高めるとともに、県民税の認知度向上を図るため、森林・林業の役割や重要性のほか、いわての森林づくり県民税の趣旨や取組等について、県民に対して多様な手法で情報を発信	<ul style="list-style-type: none"> ・「いわての森林づくり県民税」啓発チラシ作成委託 森林所有者向け6,000部 一般県民向け4,000部 ・森林環境学習パンフレットの増刷12,000部 ・県民税PRシールの増刷1,000枚 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度県民税認知度：42.7%（前年度比0.2ポイント上昇） ※全国植樹祭一年前プレイベント（7/9 八幡平市）のほか、10～12月に県内各地で開催したイベントや庁内公募参加団体にて県民税認知度に係るアンケート調査を実施。（3月1日結果公表） ・各市町村あてにいわての森林づくり県民税に関する広報の実施を依頼。 ・県民税公式SNS（Twitter・Instagram）による情報発信。 R4.9月末～R5.3月中旬までに13回投稿 ・庁内公募実施施設利用者を対象に木育に関するアンケート調査を実施（12～2月）。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>林業振興課展示ブース 県産木材を用いた玩具の展示</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・県民税の認知度（R4：42.7%）の向上が課題。 ・令和3年度から新たに取り組んでいる県産木材活用や森林公園機能強化などの取組の周知と併せ、全国植樹祭関連のイベントや広告等を通じて、「いわての森林づくり県民税」を情報発信。 ・県内小学5年生へ向けた森林環境学習支援ブックの配布 ・県民税普及啓発チラシの作成（県民向け1300枚、森林所有者向け3,700枚、全国植樹祭への来場者に向け4,600枚を配布予定） <div style="text-align: center;">  <p>県民税普及啓発チラシ（山主向け）</p> </div>																								

令和4年度「いわての森林づくり県民税」に係る 県民意識アンケート調査結果について【概要版】

1 調査目的

いわての森林づくり県民税に係る取組について、より効果的な内容とすることを目的に、令和4年7～12月に県民意識アンケート調査を実施しました。

2 調査概要

調査内容	調査対象	調査対象者	実施方法
県民意識調査	岩手県内に居住する18才以上の男女	263人	県が行うイベント等への一般参加者に対し、調査票を直接配布・回収

3 調査結果の概要

(1) いわての森林づくり県民税の周知について

ア 認知度について

いわての森林づくり県民税の名称、税額、使途の全部若しくはいずれかを知っていると回答した割合は、42.7%であった。

イ 認知要因について

いわての森林づくり県民税を知った要因として、市町村の広報誌等（33.0%）、テレビCM（30.1%）、新聞広告（16.5%）が上位であった。

(2) いわての森林づくり県民税の具体的な施策に関して

児童生徒等への森林学習機会の提供（50.4%）、伐採跡地への植林（46.1%）、台風等の気象被害等を受けた木の伐採処理（39.5%）が上位となった。

4 主な調査結果

- (1) 「いわての森林づくり県民税」を導入していること（個人で年額1,000円を納めていること）を知っていましたか。

[単位：%]

設問	回答率
1 名称、税額を知っており、使い道も知っている	14.5
3 名称、税額を知っているが、使い道はよくわからない	12.2
3 名称は知っているが、税額や使い道はよくわからない	16.0
4 名称、税額、使い道ともに知らない	57.3

県民税導入の認知度は、「名称を知っている」までを含め42.7%であった。

- (2) 問3で「いわての森林づくり県民税」を知っている（1～3）と回答した方にお聞きします。知ったきっかけは何ですか。（複数回答可）

[単位：%]

設 問	回答率
1 テレビCM	30.1
2 新聞広告	16.5
3 パンフレット・チラシ	7.8
4 ホームページ等インターネット情報	12.6
5 市町村の広報誌等	33.0
6 県民税を活用した取組を通じて（森林整備、森林環境学習、 県産木材製品の設置等）	10.7
7 その他	10.7

市町村の広報誌等、テレビCM、新聞広告が上位となった。

- (3) 「いわての森林づくり県民税」を活用して下記の取組を行っています。あなたが特に重要と思うものはどれですか。あてはまるものを全てお選びください。

[単位：%]

設 問	回答率
1 間伐による人工林の針広混交林への誘導	30.9
2 伐採跡地への植林	46.1
3 松くい虫被害木の除去	28.5
4 ナラ枯れ被害の予防のための高齢林の伐採	25.8
5 アカマツ林の樹種転換等による松くい虫の防除対策	16.8
6 台風等の気象被害等を受けた木の伐採処理	39.5
7 間伐等に必要作業道等の開設や補修	24.2
8 県産木材の活用による木育の推進や公益的機能の維持・増進	34.8
9 地域住民等が取り組む森林づくり活動への支援	24.2
10 児童生徒等への森林学習機会の提供	50.4
11 森林の役割や公益的機能等の普及啓発	17.6
12 外部評価委員会による森林環境保全の取組の評価や検証	6.6

児童生徒等への森林学習機会の提供、伐採跡地への植林、台風等の気象被害等を受けた木の伐採処理が上位となった。

令和5年度いわての森林づくり推進事業について

「いわての森林づくり県民税」の制度

- 課税期間 5年間（令和3年度～7年度）
- 課税額 個人：年額1,000円
法人：年額2,000円～80,000円
- 令和5年度税込額見込 719,111千円



令和5年度
基金積立金（予算額）
719,111千円

1 事業費 ※

(単位：千円)

事業名	R4 当初 A	R5 当初 B	差引 B-A
[いわての森林づくり推進事業]			
(1) いわて環境の森整備事業	781,518	836,861	55,343
[いわての森林づくり推進事業]			
(2) 花粉症対策等採種園整備事業	19,468	15,590	△3,518
(3) 林野火災予防対策事業費	9,802	6,211	△3,591
(4) 県民参加の森林づくり促進事業	53,856	53,591	△265
[いわての森林づくり推進事業]			
① うち県民参加の森林づくり促進事業	(30,709)	(30,109)	(△600)
② うち森林・山村多面的機能発揮対策事業	(23,147)	(23,482)	(335)
(5) 木育の推進等につながる県産木材の活用	89,640	30,221	△59,419
[いわての森林づくり推進事業]			
(6) いわて森のゼミナール推進事業	4,988	5,106	118
(7) 森林公園機能強化事業	55,262	16,511	△38,751
(8) 全国植樹祭開催準備費	232,540	667,132	434,592
[いわての森林づくり推進事業]			
(9) いわて森林づくり推進人材育成事業	2,870	2,870	0
[いわての森林づくり推進事業]			
(10) いわての森林づくり普及啓発事業	1,428	1,473	45
事業評価委員会運営費	1,454	1,457	3
合計	1,252,826	1,637,023	384,197
いわての森林づくり基金積立金	724,444	719,111	△5,333

※ 事業費は県民税以外の財源も含む総事業費

2 令和5年度 事業内容

区分	事業名 〔担当課〕	事業内容	数量等（予定）
	(1) いわて環境の森整備事業 〔林業振興課・森林整備課〕	森林の持つ公益的機能を持続的に発揮させるため、針葉樹と広葉樹の混交林化を進める強度間伐や、伐採跡地への植栽のほか、公益上重要な森林の整備に必要な作業道の開設、気象被害を受けた森林の整備等を支援	<ul style="list-style-type: none"> ・混交林誘導伐 600ha ・ナラ林健全化 70ha ・アカマツ広葉樹林化 26ha ・森林環境再生造林 200ha ・被害森林再生促進 5 ha ・被害木除去促進 100 m³ ・作業道整備 2,500m
	(2) 花粉症対策等採種園整備事業 〔森林整備課〕	花粉の少ない森林への転換を促進するため、花粉の少ないスギ等の苗木の安定供給に必要な採種園の整備を実施	<ul style="list-style-type: none"> ・花粉症対策スギミニチュア採種園造成 1.4ha ・カラマツ採種園造成 1.0ha (岩手県林業技術センター林木育種場内)
	(3) 林野火災予防対策事業費 〔森林整備課〕	林野火災から県民共通の財産である森林を守るため、初期消火活動に必要な資機材の整備や、林野火災を未然に防ぐための広報宣伝活動を行うとともに、地域で取り組む防火活動を支援	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビCM、ラジオ、ソーシャルメディア、県と包括連携協定を締結した企業の配送車両による広報 ・山火事防止パトロール活動や、森林作業道等の路網マップ作成を支援 ・初期消火資機材の整備
森林との共生	(4)-① 県民参加の森林づくり促進事業 〔林業振興課〕	県民の森林づくりへの参加促進と森林保全への理解醸成を図るため、県民による森林環境保全活動を支援	<ul style="list-style-type: none"> ・森林整備活動 10 団体 ・森林の整備を行う多様な人材育成 10 団体 ・森林環境学習 20 団体 ・県産材利用促進 5 団体 計 45 団体予定
	(4)-② 森林・山村多面的機能発揮対策事業 〔森林整備課〕	森林の有する多面的機能を発揮させるため、森林所有者や地域住民が共同で行う森林の保全活動や山村地域の活性化などの取組を支援	<ul style="list-style-type: none"> ・里山林整備、森林資源利用、路網の補修活動 84 団体活動予定 (「県民参加の森林づくり促進事業」の一部に位置付け)
	(5) 「木育の推進等につながる県産木材活用」の取組 〔県庁各部署〕	木材利用の意義や森林づくりへの理解醸成を図るため、県民税を活用し、部局横断で県民向け施設等における県産木材の利用を推進	<ul style="list-style-type: none"> ・県庁保育所内木製玩具導入 ・室根高原県立自然公園県営望洋平キャンプ場整備 ・県内保育所等木製品導入 ・種市海岸休養施設整備 ・県立図書館への木製品導入 ・県立病院院内保育所への木製玩具導入 計 6 事業
	(6) いわて森のゼミナール推進事 〔森林整備課〕	森林・林業に対する理解の醸成を図るため、児童生徒をはじめ、広く県民の方々を対象として、森林・林業に関して学習する機会を提供	<ul style="list-style-type: none"> ・森林環境学習会 25 回 ・森林環境学習指導者研修会 (NPO等に委託) ・J-クレジット制度・普及促進セミナーの開催
	(7) 森林公園機能強化事業 〔森林保全課〕	広く県民の森林・林業に対する理解の醸成を図るため、森林環境教育の拠点施設である森林公園の機能強化を実施	<ul style="list-style-type: none"> ・県民の森 (八幡平市) 遊歩道整備、看板塔設置 ・滝沢 (滝沢市) 森林整備 ・千貫石 (金ヶ崎町) 森林整備 ・折爪岳 (二戸市) 森林整備

区分	事業名 〔担当課〕	事業内容	数量等（予定）
	(8) 全国植樹祭開催準備費 〔全国植樹祭推進室〕	全国植樹祭（令和5年）の開催や開催に向けた様々な機運醸成の取組を通じて「森林・林業の役割や重要性」と「県民税の趣旨や取組」を併せてPR	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信（公式ホームページの運営、広報誌の制作等） ・式典会場及びサテライト会場の設営 ・式典の運営 ・招待者の受入（宿泊・輸送等） ・植樹関係準備（苗木の購入）
	(9) いわて森林づくり推進人材育成事業 〔森林整備課〕	地域における森林整備活動を推進するため、専門知識と技術を有し、地域に根ざして関係者の合意形成等を図る人材を育成	<ul style="list-style-type: none"> ・直営研修（7回） 森林づくりに係る実践研修、安全講習、コミュニケーション研修等 ・派遣研修（4回） 地域アドバイザー養成研修、チェーンソー特別教育等
	(10) いわての森林づくり普及啓発事業 〔林業振興課〕	県民の森林づくりに係る関心を高めるとともに、県民税の認知度向上を図るため、森林・林業の役割や重要性のほか、いわての森林づくり県民税の趣旨や取組等について、県民に対して情報を発信	<ul style="list-style-type: none"> ・普及啓発チラシの配布 ・森林環境学習支援ガイドブックの配布（県内小学5年生に配布）
	事業評価委員会運営費 〔林業振興課〕	いわての森林づくり県民税を財源として行う施策の内容を県民に明らかにし、透明性の確保を図るために設置している事業評価委員会を運営	<ul style="list-style-type: none"> ・評価委員会運営経費（委員会4回、現地調査3回開催予定）

令和5年度いわての森林づくり推進事業について

I 「環境重視の森林づくり」の取組

R5事業内容

混交林誘導伐

1-1 いわて環境の森整備事業（混交林誘導伐） 【継続】
 （担当）林業振興課 （事業区分）補助事業

間伐等の手入れが行われていない森林において、伐採率概ね5割以上の混交林誘導伐を実施し、公益的機能の高い針葉樹と広葉樹が入り混じった森林へ誘導する。

〔事業内容〕

対象森林	公益林のうち私有林の人工林（原則、森林経営計画策定森林は対象外）
対象樹種	針葉樹（アカマツ天然生林含む）
対象齢級	原則として4～12齢級
施工面積	1施工地0.1ha以上（従来の1ha以上の団地要件を緩和）
間伐率	概ね5割以上の強度間伐
協定期間	20年（皆伐・転用を制限）
〔事業主体〕	林業事業体、市町村等
〔補助率〕	10/10
〔計画量〕	600ha/年（3,000ha/5年）
〔R5予算額〕	836,861千円（うち477,750千円）



混交林誘導伐（整備後）

病虫害対策

1-2 いわて環境の森整備事業（ナラ林健全化） 【継続】
 （担当）森林整備課 （事業区分）補助事業

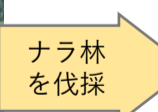
ナラ枯れ被害の拡大を防ぐため、被害の周辺地域において、被害を受けやすい高齢なナラ等を含む広葉樹林を伐採し、ナラ枯れ被害に強い広葉樹林に更新する。

〔事業内容〕

対象森林	公益林のうち私有林であって、ナラ枯れ被害が発生した地点から半径30km以内の森林
対象樹種	ナラ類を含む広葉樹
対象齢級	6齢級以上
施工面積	0.1ha以上の施工地 （5年間の転用を制限）
〔事業主体〕	市町村、林業事業体等
〔補助率〕	定額 （チップや用材等として利用する材積に対して2,000円/m ³ ）
〔計画量〕	70ha/年（350ha/5年）
〔R5予算額〕	836,861千円（うち19,600千円）



ナラ枯れ被害森林



ナラ林を伐採



実施後の萌芽（若返り）

1-3 いわて環境の森整備事業（アカマツ林広葉樹林化） 【継続】
 （担当）森林整備課 （事業区分）補助事業

松くい虫被害の拡大を防ぐため、松くい虫被害が継続して発生している地域のアカマツ林において、枯死木を含むマツを伐採し、広葉樹林への樹種転換を促進する。

〔事業内容〕

対象森林	公益林のうち私有林であって、松くい虫被害が継続して発生している地域
対象樹種	アカマツ
対象齢級	4～12齢級
施工面積	0.1ha以上の施工地（5年間の転用を制限）
対象経費	伐倒、枝払い、玉切り、集積
〔事業主体〕	市町村、林業事業者等
〔補助率〕	10/10
〔計画量〕	26ha（146ha/5年）
〔R5予算額〕	836,861千円（うち58,474千円）



松くい虫被害森林

環境を保全する植栽

1-4 いわて環境の森整備事業（森林環境再生造林） 【継続】
 （担当）森林整備課 （事業区分）補助事業

公益上重要でありながら、更新が図られていない伐採跡地において、植栽や下刈等を実施し、公益的機能を高度かつ安定的に発揮する森林を整備する。

〔事業内容〕

対象箇所	公益林のうち前生樹が針葉樹の人工林で、針葉樹及び広葉樹の稚樹の侵入が乏しく、植栽によらなければ早期の更新が困難な伐採跡地（ただし公有林を除く）
植栽樹種	花粉の少ない森林への転換を促進する①～④のものとする。 ① スギ（ただし、花粉症対策品種に限る。） ② カラマツ ③ アカマツ（ただし、松くい虫抵抗性品種に限る。） ④ 広葉樹（高木性の樹種に限る。）
植栽方法	原則、低密度植栽（ヘクタール当たり1,000本以上）とし、各樹種のヘクタール当たりの本数の上限については①～④のとおりとする。 ① スギ 2,400本 ② カラマツ 2,000本 ③ アカマツ 3,200本 ④ 広葉樹 2,000本
下刈対象 鳥獣害防止対策	1年生～5年生（ただし、カラマツは1年生～3年生） 植栽と一体的に実施する食害防止柵、忌避剤散布等の鳥獣害防止対策（以下「付帯施設」）
〔事業主体〕	林業事業者等
〔補助率〕	植栽：8/10、下刈り：7/10、付帯施設：8/10
〔計画量〕	200ha（1,000ha/5年）
〔R5予算額〕	836,861千円（うち202,040千円）



公益上重要な伐採跡地への植栽のイメージ

気象害等対策

1-5 いわて環境の森整備事業（被害森林再生）【継続】

（担当）森林整備課 （事業区分）補助事業

気象災害による被害を受けた森林において、早期の更新により公益的機能を回復させるため、倒木等の被害木を除去する。

〔事業内容〕

対象森林 公益林のうち私有林であって、気象災害による被害森林
 施工面積 0.1ha以上の施工地（5年間の転用を制限）
 対象経費 倒木等の伐倒処理
 （伐倒、枝払い、玉切り、集積）

〔事業主体〕 市町村、林業事業体等

〔補助率〕 10/10

〔計画量〕 5ha（25ha/5年）

〔R5予算額〕 836,861千円（うち5,387千円）



雪害を受けたアカマツ林

1-6 いわて環境の森整備事業（枯死木除去）【継続】

（担当）森林整備課 （事業区分）補助事業

森林の公益的機能の回復を図るとともに、人身被害や施設損壊等の二次的被害を防止するため、倒木のおそれのある松くい虫及びナラ枯れ被害による枯死木を除去する。

〔事業内容〕

対象森林 私有林であって、病虫害（松くい虫、ナラ枯れ）による被害森林（5年間の転用を制限）
 対象樹種 アカマツ、ナラ類
 対象経費 枯死木等の伐倒処理
 （伐倒、枝払い、玉切り、集積、運搬、薬剤処理※）

〔事業主体〕 市町村、林業事業体等

〔補助率〕 10/10

〔計画量〕 100m³（450m³/5年）

〔R5予算額〕 836,861千円（うち18,700千円）

※R4年度からの改正点



路網整備

1-7 いわて環境の森整備事業（森林作業道整備）【継続】

（担当）林業振興課・森林整備課 （事業区分）補助事業

奥地に位置する管理の行き届かない森林において、上記1-1、1-3、1-4の事業を効率的に実施するため、作業等に必要作業道の開設等を実施する。

〔事業内容〕

規格 幅員 2.5～3.0m
 路面 砂利敷

〔補助率〕 附帯する事業と同じ

〔事業主体〕 附帯する事業と同じ

〔計画量〕 2,500m

〔R5予算額〕 836,861千円（うち15,000千円）



作業道整備のイメージ
 （写真出典：林野庁HP）

花粉症対策

2 花粉症対策等採種園整備事業 【継続】

(担当) 森林整備課 (事業区分) 県事業

花粉の少ない森林への転換を促進するため、花粉症対策スギやカラマツの種子の安定供給に必要な採種園を整備する。

- 〔事業内容〕 新たに花粉症対策スギ及びカラマツ採種園を整備
- ・花粉症対策スギミニチュア採種園 5.9ha／5年
 - ・カラマツ採種園 4.2ha／5年
- 〔R5 予算額〕 15,590千円



スギミニチュア採種園



カラマツ採種園

林野火災対策

3 林野火災予防対策事業 【継続】

(担当) 森林整備課 (事業区分) 県事業

林野火災から県民共通の財産である森林を守るため、初期消火活動に必要な資機材の整備や、林野火災を未然に防ぐための広報宣伝活動を行うとともに、地域で取り組む防火活動を支援する。

- 〔事業内容〕
- (1) 消火資機材の整備 初期消火資機材を配備
 - (2) 広報宣伝活動 テレビCM、ラジオ、ソーシャルメディア、県と包括連携協定を締結した企業の配送車両（ヤマト運輸、佐川急便、日本郵政）による広報
 - (3) 地域防火活動支援 山火事防止パトロール活動や、森林作業道等の路網マップ作成を支援
- 〔R5 予算額〕 6,211千円（うち県民税5,161千円）



平成29年に釜石市で発生した山火事



テレビCMによる広報活動



ユーチューブによる広報活動



ボランティア活動支援
(帽子とブルゾン)



消火活動に活用する路網マップ

II 「森林との共生」の取組

R 5 事業内容

森林づくり

4 県民参加の森林づくり促進事業 【継続】

(担当) 林業振興課 (事業区分) 補助事業

県民の森林づくりへの理解の醸成と積極的な参画の促進を図るため、地域住民や団体等が主体的に取り組む「森林をつくる活動」、「森林を学び活かす活動」や「森林資源を活かす活動」などを支援する。
〔事業内容〕

- (1) 森林をつくる活動(森林整備活動)
未利用のまま放置されている里山林の再生及び新たな活用を図るための森林整備活動等を支援。
- (2) 森林の手入れを行う多様な人材育成活動(担い手育成活動)
新たに活動する個人や非営利団体等を対象とし、森林施業等の研修活動を支援。
- (3) 森林を学び活かす活動(森林環境学習活動)
森林整備の必要性等を学び、将来の森づくり活動につながる森林環境学習及びこれと連動した活動等を支援。
- (4) 森林資源を活かす活動(県産材利用促進活動)
木材・木材製品等の県産材利用促進活動や公的森林公園における県産材利用促進活動を支援。

〔補助率〕

- (1)～(3) 定額(上限100万円)
- (4) 県産材利用促進: 1/3(上限100万円)
森林公園整備: 定額(上限250万円)

〔事業主体〕

市町村、各種団体(地域住民団体、NPO等)

〔R 5 予算額〕 30,109千円



森林を学び活かす活動

5 森林・山村多面的機能発揮対策事業 【継続】

(担当) 森林整備課 (事業区分) 補助事業

森林の多面的機能を発揮させるため、森林所有者や地域住民等が共同で行う森林の保全活動や山村地域の活性化などの取組を支援する。

〔事業内容〕 地域協議会を通じて、森林所有者や地域住民等で構成した活動組織が実施する森林整備や森林資源の利活用、路網の整備等を支援する。

〔補助率〕 1/8等(国3/4、市町村1/8等)

〔事業主体〕 いわて里山再生地域協議会(活動主体: 地域住民等による活動組織)

〔R 5 予算額〕 23,482千円(うち県民税23,353千円)



【地域環境保全タイプ】

地域住民による雑草木の刈払い



【森林資源利用タイプ】

スギ間伐材の利用

木育等推進

6 木育の推進や公益的機能の維持・増進につながる県産木材の活用取組 (担当) 林業振興課 (事業区分) 県事業

県産木材の温もりや心地よさの体感等を通じ、木材利用の意義や森林づくりへの理解醸成・普及啓発を図るため、県民向け施設等における県産木材の利用を推進する。

〔事業内容〕

- (1) 木育の推進を目的とし、教育施設において、木材製品の設置などを実施
- (2) 木育の推進及び県産木材の普及啓発を目的とし、公共的施設において、木材製品の設置などを実施

〔R5年度設置施設〕

(1) 教育施設

県庁保育所「うちまる保育園」、県内保育所、保育所型認定こども園、地域型保育事業所、放課後児童クラブ、児童館、県立病院院内保育所

(2) 公共的施設

県立自然公園（室根高原県立自然公園県営望洋平キャンプ場）、種市海岸休養施設（キャンプ村、シーサイドハウス）、県立図書館

〔R5予算額〕 30,221千円

森林環境学習

7 いわて森のゼミナール推進事業 【継続】 (担当) 森林整備課 (事業区分) 県事業

森林・林業に対する理解の醸成を図るため、児童・生徒をはじめ、広く県民の方々を対象として、森林・林業やカーボンニュートラルに関して学習する機会を提供する。

〔事業内容〕

(1) 森林環境学習会

小中学校や各種団体等における樹木観察会や木工・クラフト体験等の取組に対し、森林インストラクター等の講師派遣を実施

(2) 森林環境学習指導者研修会（指導者研修会、情報交換会）

地域住民による森林環境学習などの取組が県内各地で活発に行われるよう、森林環境学習などを実践するリーダーのスキルアップを図る指導者研修と情報交換会を実施

(3) J-クレジット制度・普及促進セミナー

J-クレジット制度の普及促進を図るため、J-クレジット制度の概要及び活用等について紹介するセミナーを開催

〔R5予算額〕 5,106千円



森林環境学習



森林環境学習指導者研

8 森林公園機能強化事業 【継続】（事業実施期間：R3～）

（担当）森林保全課 （事業区分）県事業

広く県民の森林・林業に対する理解の醸成を図るため、森林環境教育拠点施設である森林公園の機能強化を実施する。

〔事業内容〕

- (1) バリアフリーの推進（遊歩道整備）
- (2) 外国人利用者への対応（看板塔整備）
- (3) 多様な年齢層への対応（森林整備）

〔計画個所数〕 県民の森ほか森林公園 4カ所
〔R5予算額〕 16,511千円

【令和4年度整備内容】



遊歩道整備



木育スペース設置

普及啓発

9 全国植樹祭開催準備事業 【継続】（事業実施期間：R3～R5）

（担当）全国植樹祭推進室 （事業区分）県事業

豊かな国土の基盤である森林・緑の重要性に対する国民的理解を深めるため、第73回全国植樹祭（令和5年6月）の開催や開催に向けた様々な機運醸成の取組を通じて、「森林・林業の役割や重要性」と「県民税の趣旨や取組」をPRする。

〔事業内容〕

- (1) 全国植樹祭の開催
 - ア 式典会場及びサテライト会場の設営
 - イ 式典の運営
 - ウ 招待者の受入（宿泊・輸送等）
 - エ 植樹関係準備（苗木の購入）



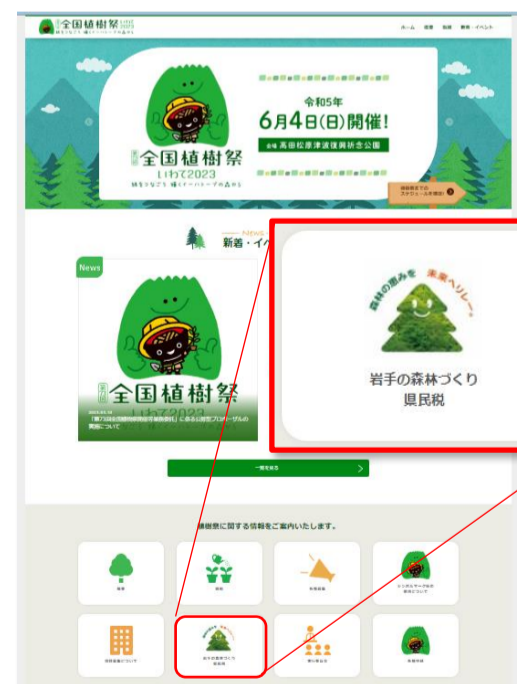
お野立所

- (2) 機運醸成の取組を通じた普及啓発
 - ア 情報発信（公式ホームページの運営、広報誌の制作等）

〔R5予算額〕 667,132千円（うち県民税667,109千円）



【イメージ】式典の運営
(R元 愛知大会)



公式ホームページの運営

【イメージ】サテライト会場
(久慈市 道の駅「いわて北三陸」)



10 いわたの森林づくり普及啓発事業 【継続】

(担当) 林業振興課 (事業区分) 県事業

県民の森林づくりに係る関心を高めるとともに、県民税の認知度向上を図るため、森林・林業の役割や重要性のほか、いわたの森林づくり県民税の趣旨や取組などについて発信する。

〔事業内容〕

- (1) 森林環境学習支援ガイドブックの配布 (県内小学5年生に配布)
- (2) 普及啓発チラシの配布

〔R5予算額〕 1,473千円



森林環境学習支援ガイドブック



普及啓発チラシ



人材育成

11 いわた森林づくり推進人材育成事業 【継続】

(担当) 森林整備課 (事業区分) 県事業

地域における森林整備活動を推進するため、公益的機能の維持増進に向けた森林の整備・保全等に関する幅広い専門知識と技術を有し、地域に根ざして関係者の合意形成等を図る人材を育成する。

〔事業内容〕

地域の森林整備活動の核となることが期待される者を対象として、針広混交林化など環境重視の森林づくりに関する研修をはじめ、合意形成のためのコミュニケーション研修、森林整備活動における安全指導研修等を実施し、「いわた森林づくりコーディネーター」を育成。

〔育成人数〕

新規受講予定14名/年 (修了予定7名/年)

〔R5予算額〕

2,870千円



更新樹種の確認 (遠野市)



森林づくり活動実践研修 (矢巾町)

いわて環境の森整備事業 モニタリング調査 令和4年度調査報告

岩手県林業技術センター 研究部

調査結果の概要

- 1 8地区に11調査区を設置し、平成28年度まで間伐7～9年後の植栽木の成長、光環境の変化、下層植生の変化を測定した。
- 2 令和4年度は、根白地区（間伐14年後）で全3項目の調査を実施した。
- 3 同地区は、平成20年度（43年生時）に本数間伐率43.0%、材積間伐率34.5%の間伐を実施している。
- 4 植栽木のスギ残存木は、間伐後も樹高、胸高直径及び材積が増加していた。
- 5 間伐後、実生（高さ30cm未満）本数は増加したが、稚樹（高さ30cm～200cm未満）まで成長するものは、きわめて稀であった。その主な原因はシカによる食害と考えられた。
- 6 林内の光環境は緩やかに低下した。
- 7 間伐14年後の植栽木について収量比数など密度管理指標を算出したところ、相対樹幹距離を除いて、概ね適正な範囲であった。

1. 調査の背景・目的

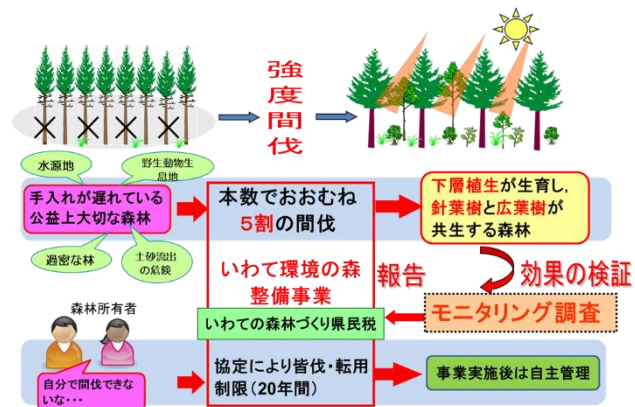


図-1 いわて環境の森整備事業の内容とモニタリング調査の目的

2. 調査箇所と調査方法

(1) 調査箇所の概況と位置

表-1 モニタリング調査地一覧

設置・間伐年度	地区名	所在地	植栽樹種	間伐時 林齢	調査区数
H19	赤沢	紫波町赤沢	スギ	49年	1
H19	達曽部	遠野市宮守町達曽部	スギ	26年	3
H19	玉崎	奥州市江刺区玉里	ヒノキ	33年	2
H20	夏井	久慈市夏井町	アカマツ	42年	1
H20	野黒沢	二戸市浄法寺町	カラマツ	43年	1
H20	根白	大船渡市三陸町吉浜	スギ	43年	1
H21	拝峠	花巻市東和町石鳩岡	スギ	25年	1
H21	川目	釜石市川目	スギ	31年	1

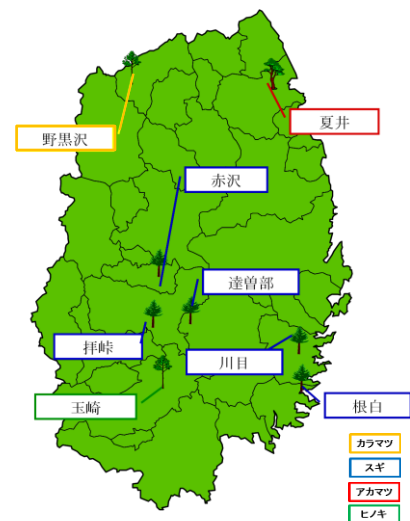


図-2 モニタリング調査位置図

(2) 調査方法

調査木の区分（図-3 左）ごとに異なる面積の調査区を設けている。令和4年度は根白地区において(1)上層木調査(植栽木等の毎木調査)、(2)下層植生調査、(3)光環境調査を行った(図-3 右)。調査結果から、密度管理指標として収量比数^{※1}、相対幹距比^{※2}、樹冠長率^{※3}、および形状比^{※4}を算出した。

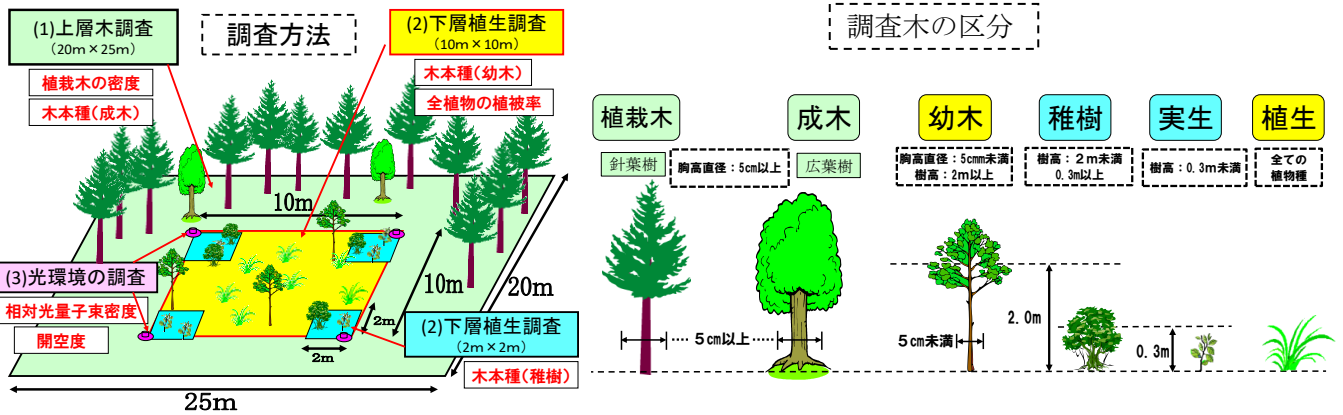


図-3 調査方法の概要と調査木の大きさによる区分

3. 調査結果

(1) 全調査区の概況

表-2 各調査区における間伐当時の概況

間伐年度	調査区名	植栽樹種	伐採時 林齢 年	立木本数 本/ha		本数 間伐率 %	材積 間伐率 %	胸高断面積 間伐率 %	平均樹高 m		平均直径 cm		収量比数		形状比	
				間伐前	間伐後				間伐前	間伐後	間伐前	間伐後	間伐前	間伐後	間伐前	間伐後
19	赤沢	スギ	49	1,000	540	46.0	32.3	33.2	22.6	23.8	28.0	31.4	0.75	0.55	81	76
19	達曽部①	スギ	26	2,700	1,560	42.2	21.1	23.7	14.6	16.2	16.5	19.4	0.88	0.73	88	84
19	達曽部②	スギ	26	2,360	1,360	42.4	22.6	20.1	13.8	15.3	15.8	19.2	0.80	0.65	87	80
19	達曽部③	スギ	26	2,160	1,280	40.7	21.7	19.1	13.6	14.8	16.2	19.1	0.75	0.61	84	77
20	根白	スギ	43	1,580	900	43.0	34.5	35.4	17.4	17.9	23.4	25.3	0.78	0.58	73	71
21	拝峠	スギ	25	2,160	1,220	43.5	19.6	25.1	16.6	18.1	19.7	23.2	0.87	0.70	85	78
21	川目	スギ	31	2,240	1,140	49.1	23.5	27.0	18.7	20.2	21.0	25.5	0.93	0.74	89	79
19	玉崎①	ヒノキ	33	1,600	800	50.0	37.5	37.4	15.5	16.6	22.0	24.3	—	—	70	68
19	玉崎②	ヒノキ	33	2,080	960	53.8	38.3	35.8	15.1	16.2	18.5	21.1	—	—	82	77
20	夏井	アカマツ	42	1,940	1,080	44.3	29.5	27.1	16.0	16.2	18.0	20.4	0.89	0.79	85	80
20	野黒沢	カラマツ	43	1,180	540	54.2	39.8	37.4	18.3	18.8	22.4	26.7	0.81	0.58	75	70

※¹ 収量比数：植栽木間の成長競争により劣勢木が自然に枯死する最も混んだ状態を1とし、それに対してどの程度空いているかを0~1の範囲で示したものを。上層木の平均樹高と1ha当たりの本数から算出する。一般に収量比数が0.8以上で混みすぎ、0.6以下で空きすぎとされる。

※² 相対幹距比：相対幹距比(%) = $10,000 / (\text{平均樹高} \times \sqrt{\text{1ha 当たりの本数}})$ の式で算出する。相対幹距比が小さくなると密、大きくなると疎となり、17~22%ぐらいが適切な密度とされる。

※³ 樹冠長率：樹冠長率(%) = $(\text{樹高一枝下高}) / \text{樹高}$ の式で算出する。気象災害に対して安全性の高い林分を長く維持していくためには、樹冠長率を40から60%の間で管理することが望ましいとされる。

※⁴ 形状比：形状比 = $\text{樹高} / \text{胸高直径}$ の式で算出する。形状比が80を超えると気象災害に対して危険性が高くなり、70以下で安全性が高いとされる。

(2) 根白地区（スギ）における間伐14年後までの状況

① 植栽木の成長

間伐前（H20年）から間伐14年後（R4）までの植栽木（残存木）の平均樹高、平均胸高直径及び材積を示した(図-4)。平均樹高、平均胸高直径及び材積とも、年々増加していた。平均樹高は、間伐直後（H21）の約1.3倍になっていた。平均胸高直径も間伐直後（H21）の約1.27倍になっていた。また、調査区当りの材積、単木材積ともに、間伐直後（H21）の約2.1倍になっていた。

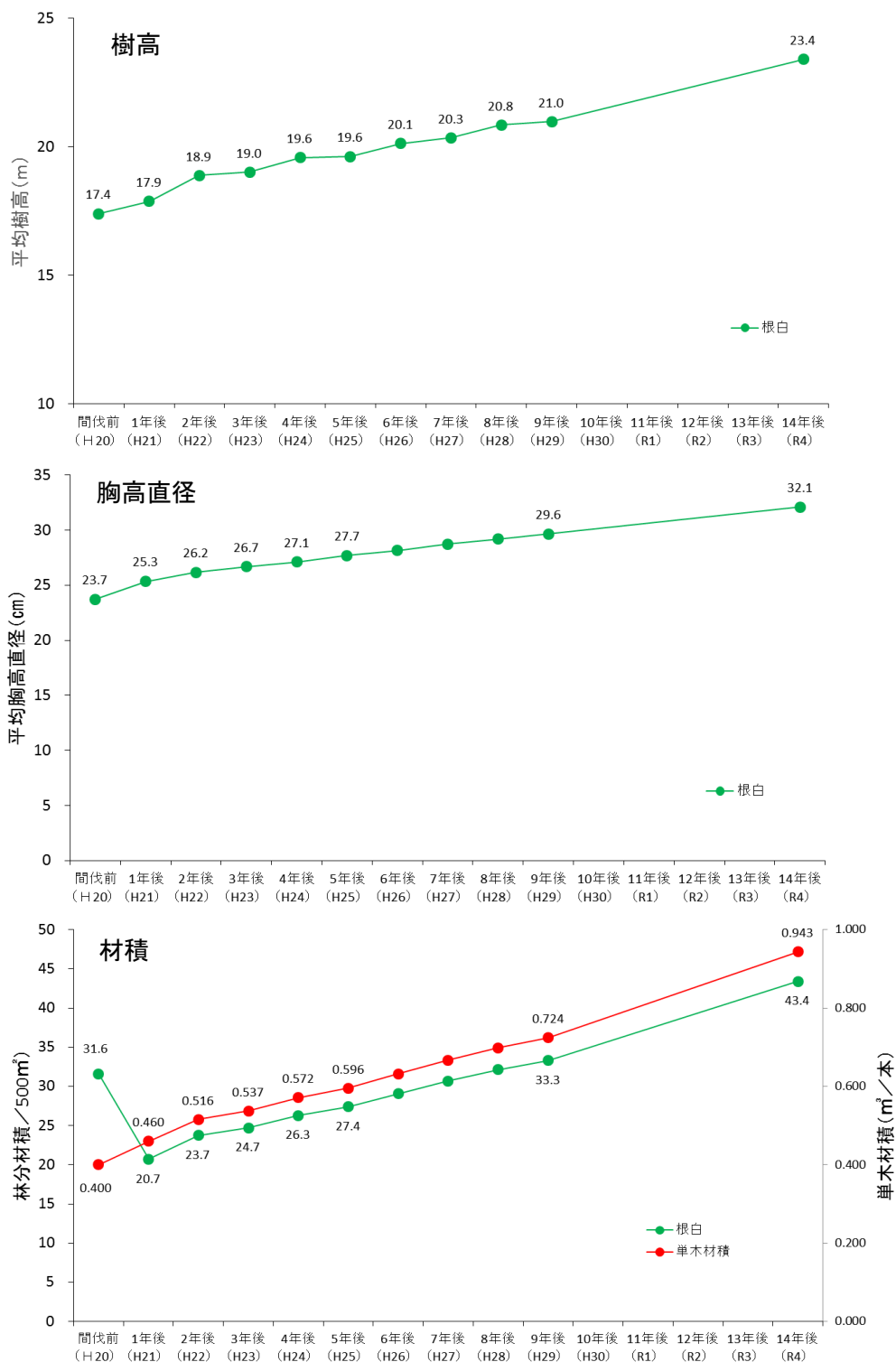


図-4 根白地区における植栽木（間伐残存木）の成長

②植栽木以外の木本種本数の変化

根白地区における間伐前 (H20)、間伐1年後 (H21)、間伐3年後 (H23)、間伐5年後 (H24)、間伐7年後 (H27)、間伐14年後 (R4) の植栽木以外の木本種の密度変化を図-5に示した。

調査区の成木及び幼木 (高さ2m以上の木本) は、間伐前にも、間伐14年後にも確認されなかった。

稚樹 (高さ0.3m~2m未満) は、間伐前1,875本/haであり、間伐14年後まで大きな変動はみられなかった。

実生 (高さ0.3m未満) は、間伐前6,875本/haであったが、間伐2年後から増加し、間伐5年後にはピークの32,500本/ha (間伐前の約5倍) となった。その後は減少傾向に転じたが、間伐14年後でも、18,125本/ha (間伐前の約2.6倍) が生育していた。

なお、稚樹及び実生には、シカの食害とみられる被害が複数確認された (図-6)。

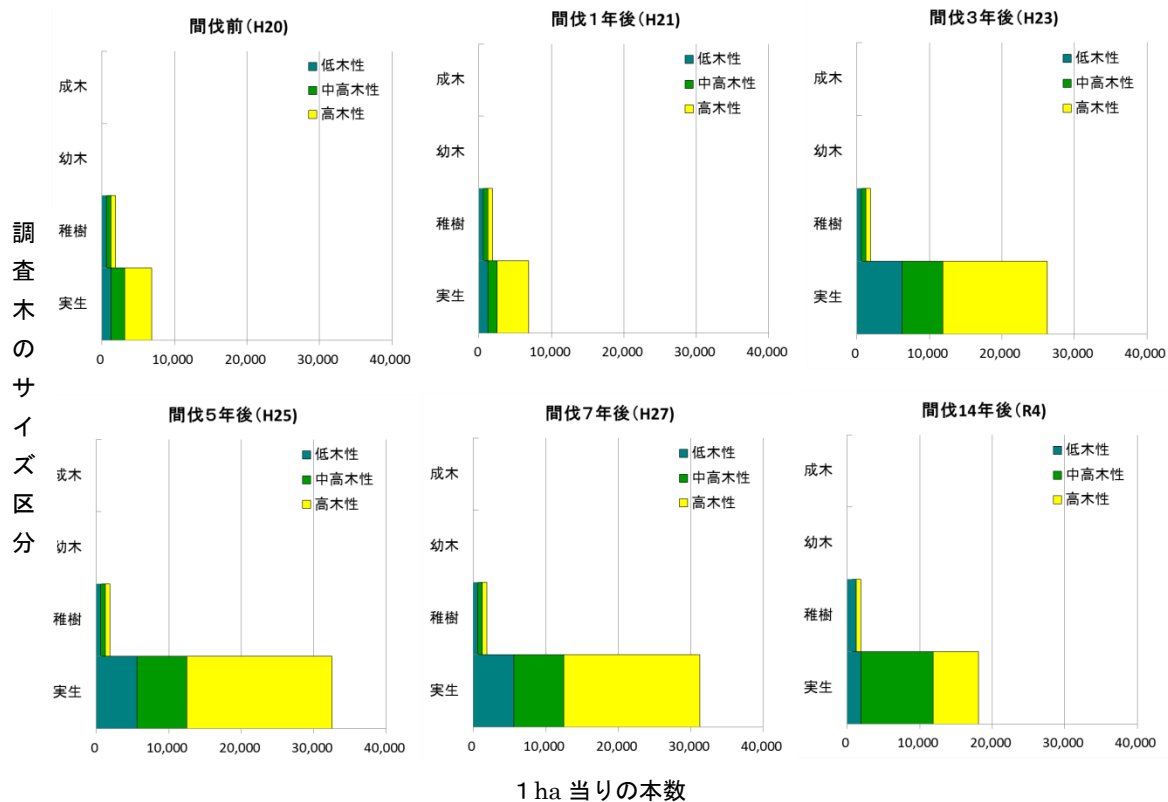


図-5 根白地区における植栽木以外の木本種本数の変化



図-6 シカの食害とみられる被害 (R4.8.16)

③ 下層植生の植被率

根白地区における間伐前（H20）から間伐14年後（R4）までの下層植生の植被率を図-7に示した。間伐前は5%以下であったが、間伐後増加し、間伐4年後には10%を超えた。その後は、10%前後で大きな変動がみられなかった。

植被率が低い傾向は、シカによる食害の影響によるとものと考えられる。

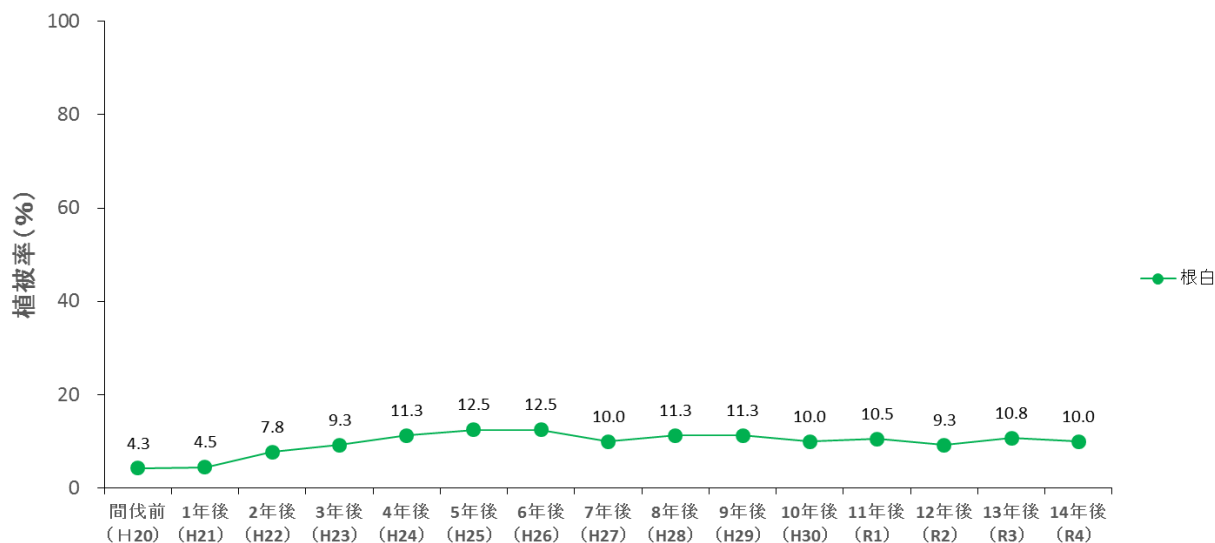


図-7 根白地区における下層植生の植被率の変化

④ 林内の光環境

根白地区における間伐前（H20）から間伐14年後（R4）までの相対光量子束密度を図-8に示した。間伐1年後、林内の光環境が改善し、間伐5年後まで相対光量子束密度が高い状態が継続した。しかし、間伐7年後から緩やかな減少傾向であった。

なお、間伐4年後（H24）、6年後（H26）及び8年後（H28）に光量子束密度の大きな低下が記録されているが、これは、光量子束密度の測定に適した曇天で測定ができなかったことに由来する変動である。

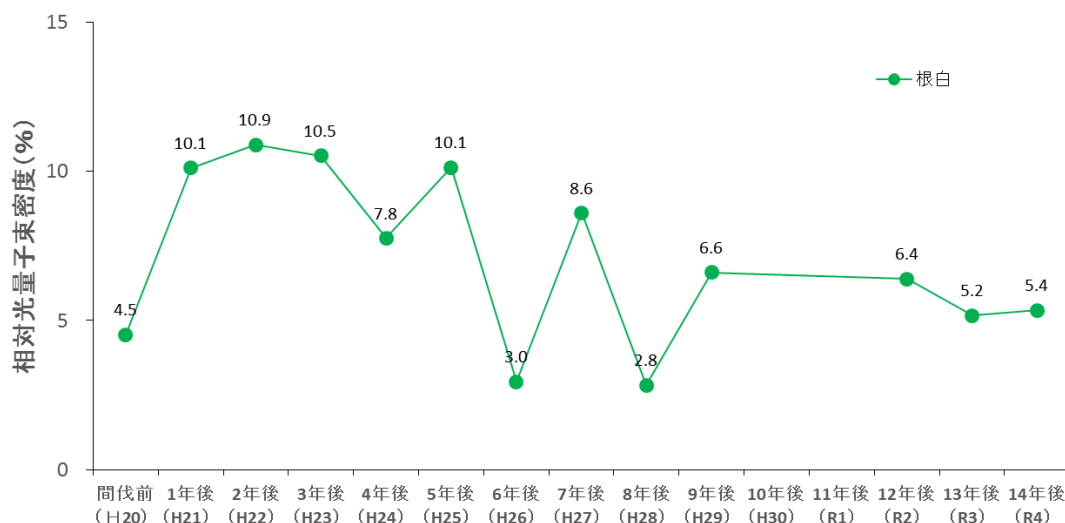


図-8 根白地区における相対光量子束密度の変化

※6 相対光量子束密度：植物が光合成で利用する光の波長領域をセンサーにより測定した値が光量子束密度で、相対光量子束密度は林外で測定した値に対する林内で測定した値の割合を示し、林内の明るさの指標となる。測定は地上1.2mの高さで実施した。

⑤ 密度管理指標の算出

根白地区における間伐前（H20）から間伐14年後（R4）までの植栽木（残存木）本数と相対幹距比の変化を図-9に示した。間伐14年後の収量比数は0.64、相対幹距比は14.09、樹冠長率は45.0%、形状比は72.9%であった。相対幹距比は、適正とされる17～22%を下回っており「密」と判定されたが、それ以外は、概ね適正な値の範囲であった。

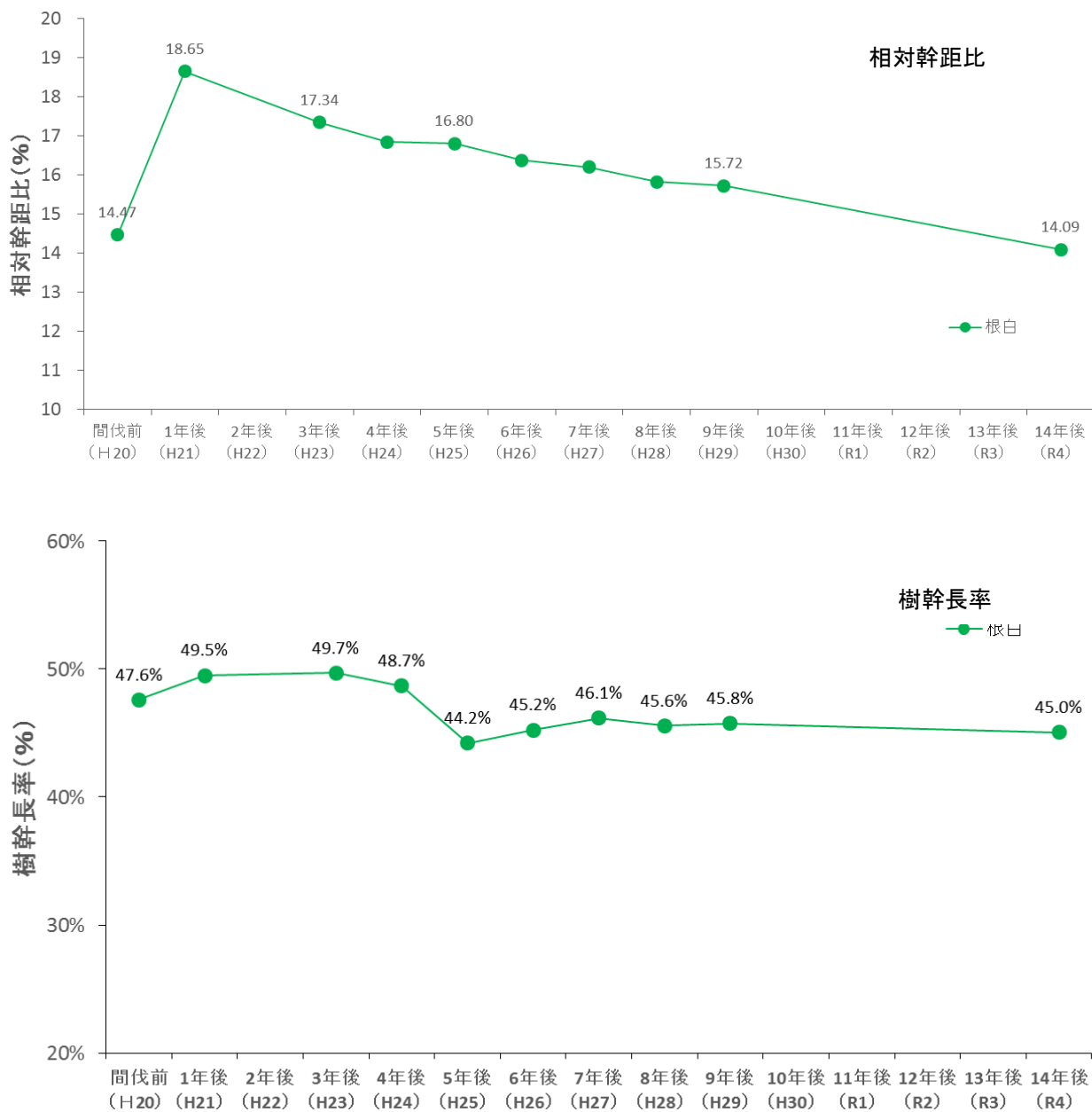


図-9 根白地区における植栽木（間伐残存木）の相対幹距比と樹幹長率の変化

根白地区

夏井地区
アカマツ

野黒沢地区

問伐前
(H20)



問伐1年後
(H21)



問伐3年後
(H23)



問伐5年後
(H25)



問伐7年後
(H27)



問伐9年後
(H29)



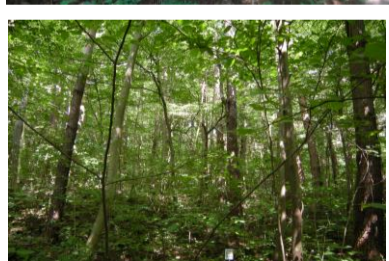
問伐10年後
(H30)



問伐11年後
(R1)



問伐12年後
(R2)



問伐13年後
(R3)



問伐14年後
(R4)

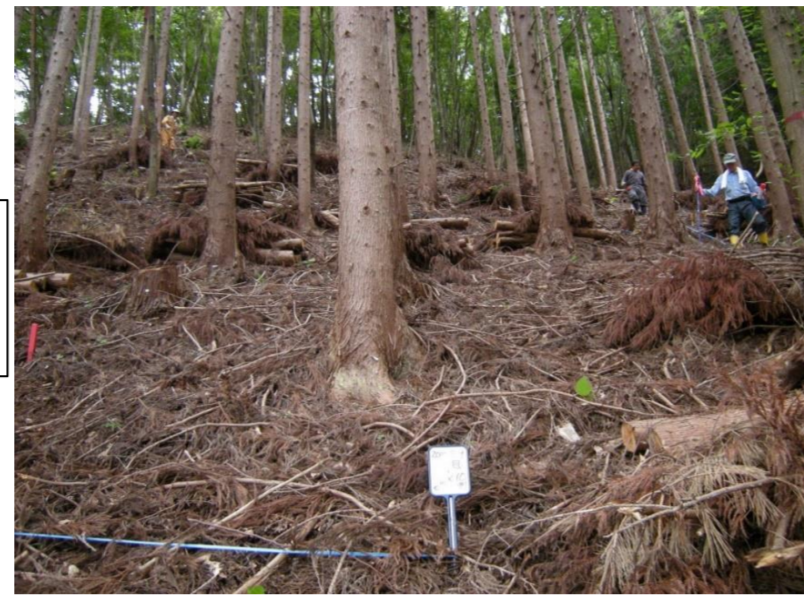


川目地区
スギ

間伐前
(HZ1)



間伐1年後
(HZ2)



間伐3年後
(HZ4)



間伐5年後
(HZ6)



間伐7年後
(HZ8)



間伐9年後
(HZ10)



間伐10年後
(R1)



間伐11年後
(R2)



間伐12年後
(R3)



間伐13年後
(R4)



拝峠地区
スギ



赤沢地区

達魯部2地区

玉崎1地区

問伐前
(H19)



問伐1年後
(H20)



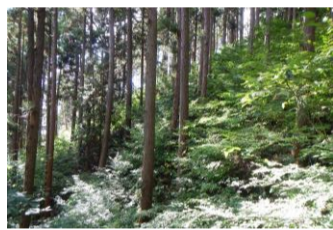
問伐3年後
(H22)



問伐5年後
(H24)



問伐7年後
(H26)



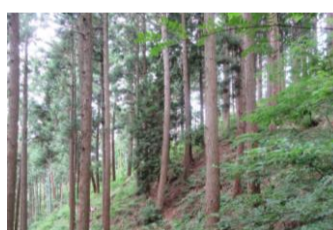
問伐9年後
(H28)



問伐11年後
(H30)



問伐12年後
(R1)



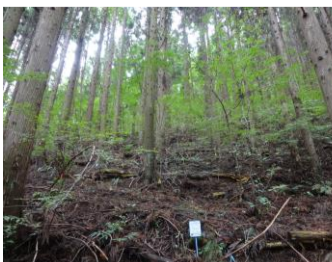
問伐13年後
(R2)



問伐14年後
(R3)



問伐15年後
(R4)



令和5年度 県民参加の森林づくり促進事業 企画応募団体一覧表【1次募集分】

資料No.	応募数	団体所在地	事業区分	実績回数	団体名	事業名	企画応募額(円)		参加予定者数(人)
							R4	R5	R5
1	1	滝沢市	森林整備	10	一般社団法人 東北地域環境計画研究会	イヌワシの森整備事業	197,997	190,000	70
2	2	雫石町	森林整備	7	森守の盛	森守の盛森林整備事業2023	134,450	119,450	90
3	3	紫波町	森林整備	14	間伐ボランティアいわて	いわて森林づくり県民税活用事業	960,346	633,139	150
4	4	奥州市	森林整備	7	生母生産森林組合	ボランティア等による下草刈り等の森林整備活動	393,280	436,940	130
5	5	遠野市	森林整備 森林環境学習	10	NPO法人遠野エコネット	森林ボランティア育成事業	1,000,000	1,000,000	660
6	6	宮古市	森林整備	16	森を考える会	楽しい森林・林業体験事業	865,252	921,781	80
7	7	岩泉町	森林整備	2	岩泉まつたけ事業協同組合	岩泉まつたけ山づくり協力隊事業	484,013	865,024	44
8	8	田野畑村	森林整備	新	田野畑村	「きぼうの桜」等親林園地整備事業	-	1,000,000	50
9	9	久慈市	森林整備	6	くじ☆ラボ	平庭高原ガーデニング『日本一の白樺美林』魅力アップ事業	981,220	985,660	130
10	1	紫波町	人材育成 森林環境学習	8	NPO法人 紫波みらい研究所	紫波みらい研究所山づくりプロジェクト	999,857	851,219	315
11	2	盛岡市	人材育成	15	NPO法人 いわて森林再生研究会	森のチェーンソー講座(森林作業の安全技術研修)	1,000,000	1,000,000	400
12	3	大槌町	人材育成	2	特定非営利活動法人吉里吉里国	森と共に生きる人材育成事業	-	1,000,000	125
13	4	山田町	人材育成	新	山田町山守の会	チェーンソーの安全な扱い方を学び、自伐型林業の担い手を育成する事業	-	955,792	30
14	1	盛岡市	森林環境学習	1	いわて森林インストラクター会	里山公園の活用と整備～小鹿公園自然観察会(小鹿めぐり～)	394,125	488,161	315
15	2	盛岡市	森林環境学習	12	鹿妻穴堰土地改良区	県民参加の森林づくり促進事業	360,000	360,000	2,370
16	3	盛岡市	森林環境学習	8	特定非営利活動法人 日本メイプル協会	視覚障がい者のための「森の探検隊」	324,304	378,972	84
17	4	盛岡市	森林環境学習	13	なのりの里 生き生きプロジェクト	なのりの里 生き生きプロジェクト事業	356,540	430,810	210
18	5	盛岡市	森林環境学習	2	ノースジャパン素材流通協同組合	青年部会「げんき森林(モリ)モリフェスティバル	1,000,000	1,000,000	860
19	6	盛岡市	森林環境学習	1	「ホホホの森探検隊」実行委員会	ホホホの森探検隊	256,500	351,920	450
20	7	雫石町	森林環境学習	10	特定非営利活動法人 わらしやんど雫石	令和5年度いわての森とふれあう森林体験学習推進事業	386,000	347,770	75
21	8	一関市	森林環境学習	11	地縁団体奥玉愛林公益会	どんぐりの森づくり大作戦	287,566	222,186	100
22	9	一関市	森林環境学習	1	一関市	いちのせき里山活用事業	-	402,924	65
23	10	遠野市	森林環境学習	17	遠野市	とおの里山美林推進事業	232,110	314,000	160
24	11	釜石市	森林環境学習	新	森結	森の学び舎	-	37,130	10
25	12	宮古市	森林環境学習	14	宮古市	みやこ市民の森づくり事業	252,846	392,380	100
26	13	宮古市	森林環境学習	新	小沢の里山をつくる会	癒しと親しみの里山体験事業	-	695,874	50
27	14	久慈市	森林環境学習	10	久慈地方木材青年協議会	親子で木とのふれあい体験	752,822	820,562	400
28	15	久慈市	森林環境学習	2	久慈市しいたけ生産推進協議会	原木しいたけ産体験事業	102,856	139,010	2,470
29	16	二戸市	森林環境学習	10	馬淵川上流域森林・林業活性化センター	令和5年度カシオペアフォレストスクール事業	305,400	356,400	420
30	1	盛岡市	県産材利用促進	3	盛岡市	盛岡市都南つどの森遊具整備事業	1,341,832	2,191,991	292
31	2	北上市	県産材利用促進	新	北上市	北上市憩いの森木製器具設置業務委託	-	1,000,000	-
計							13,369,316	19,889,095	10,705